

令和4年度 名古屋市障害者差別相談センター・名古屋市障害者虐待相談センター・
名古屋市高齢者虐待相談センター 市民講演会
「差別や虐待のない地域社会をめざして」 開催報告

1 開催状況

開催日時：令和5年3月4日（土）午後1時30分～3時45分
会場：鯉城ホール
参加者数：374名

2 プログラム

<開会>

主催者あいさつ：名古屋市社会福祉協議会 権利擁護推進部主幹 弘田 直紀

<第1部>

講演 多様性のある社会を目指して
～障害者差別、障害者・高齢者虐待防止の視点から～
講師 田中 伸明 さん（弁護士・市視覚障害者協会会長）

【講演の概要】

冒頭、「花緑師匠の前座を僭越ながら務めさせていただきます」ときさくにお話しされ、謙虚でユーモアある人柄に一瞬で会場の皆さんの心をつかまれ、和やかな雰囲気が始まりました。

まず、自己紹介があり、障害当事者であるご自身の障害特性について、点字で作成された講演プログラムを見せるなどしながら会場の皆さんに説明されました。

そして、障害者権利条約を締約している日本にこのほど国連から出された総括所見についてや障害者差別解消法、障害者虐待防止法、高齢者虐待防止法についてお話しされました。難しい法律の内容も具体例を交えながらの説明で、とてもわかりやすい内容でした。穏やかで丁寧な語り口に会場の皆さんも引き込まれ、熱心にメモを取りながら聞き入る人が多くいらっしまったのが印象的でした。



<第2部>

講演 発達障害は私にとってギフトでした!!
～発達障害落語家誕生～
講師 柳家 花緑 さん（落語家）

【講演の概要】

前半は、ご自身の障害特性について、同じ発達障害であっても障害特性はさまざまで個人差があるということなどをご自身の経験



を踏まえながらとてもわかりやすく、笑いを交えてお話いただきました。

お話のなかで、障害の有無に限らず、誰でも困難なことが起こった時、何が起きたかではなく、それとどう向き合うかが大事。発達障害を良くみるか、悪くみるかはその人次第。だったら良い面をみるほうがよい。ものの見方（捉え方）が唯一私たちを変えられる方法といった、金言もいただきました。

また、花緑さんが日々心がけていることは、「そうじと笑いと感謝」だそうです。実践するのにお金もかからず、意識を前向きにし、人生を好転させてくれるものというお話には、参加者の皆さんも頷いたり、相槌を入れるなどして熱心に聞き入っていました。

後半は、落語「井戸の茶椀」をご披露いただきました。

会場内は終始笑いに包まれ、時間も忘れるくらいあっという間の講演となりました。

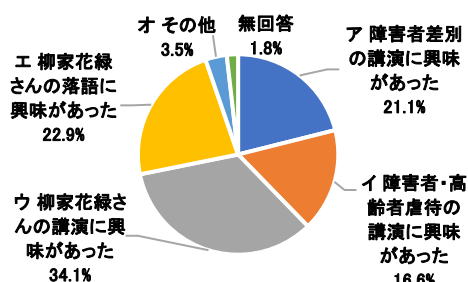


3 アンケート結果

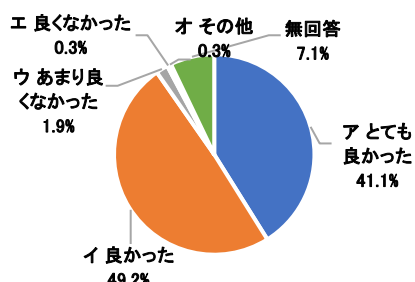
■ アンケート回収数：309名（回収率 82.6%）

■ 主な質問と回答内容

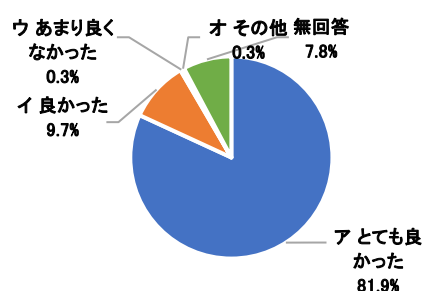
①参加動機



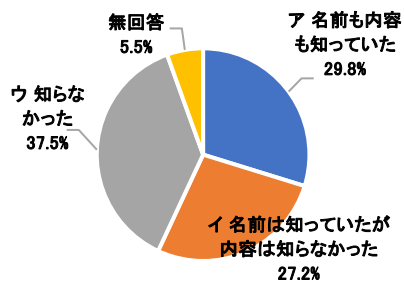
②第1部の満足度



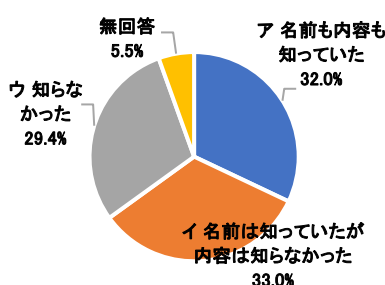
③第2部の満足度



④障害者差別解消法の認知度



⑤障害者虐待防止法・高齢者虐待防止法の認知度



⑥感想

- ・法改正があるのを知らなかったため、知ることができてよかった。
- ・「自分軸を持つ」「ものの見方によって変わる」「掃除・笑い・感謝」など心にひびく言葉をたくさん聞くことができた。
- ・発達障害の対処方法も身に着け、「ギフト」と捉える花緑さんの生き方に感銘を受けた。